



2022 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022 年9月1日～ 2023 年8月31日)



2018年9月1日新4工場前



株式会社フジモト

作成日: 2023年9月30日

目 次

項 目	ページ
ご挨拶	3
環境経営方針	4
会社概要	5
事業・製品の紹介	6
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	7, 8
主な環境負荷の実績	9
環境経営目標及びその実績	10
環境経営計画の取組結果とその評価	11～15
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	16
緊急事態対応訓練	16
代表者による全体の評価と見直し・指示	17
これまでの環境活動の紹介	18



ご挨拶

当社は昭和53年8月に個人事業として創業開始し
その後昭和63年9月組織変更 藤本塗装有限会社を創立。
現在の株式会社「フジモト」へ平成28年1月へ変更し、今年で創業41年周年となります。
これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物であると感謝しております。

創業者である故藤本重信から
「働きがいのある職場作りと社員の幸福をめざし、100年続く企業としてありつづけ
社会に貢献する集団を作る。」を経営理念にその意思は受け継がれ、現在では
兵庫県を中心に、京都府へと事業拡大させて頂く事となりました。

私達を取り巻く環境も大きく変化し、大規模な事前災害や気候変動に伴う
異常気象・地球温暖化などの環境問題、エネルギー問題など
人類共通の課題に対して、責任も大きくなっています。

当社はこれからも製造業(塗装業)として、業務を通じて環境に配慮した
製造・塗装を提供できるよう、知識と技術の修得に努め
お客様の期待・要望に応えてまいります。
また、地域の皆様と共に、社会貢献活動にもこれまで通り積極的に取り組んでいきたい
と思いますので、皆様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社フジモト
代表取締役 **藤本 昌司**

環境経営方針

＜基本方針＞

私たちは、今ある地球環境を次世代に受け継いでいくため環境負荷の低減をめざします。

＜環境経営理念＞

- 企業市民として積極的に地域社会に貢献します。
- 省エネ活動に向けてCO2の削減を目指し、廃棄物のリサイクルを進め良質な地域環境形成への推進に努めます。
- 現場でのリサイクル活動を推進し廃棄物を持ち込まない、また出さない取り組みをし、分別の徹底を行います。
- 地域における清掃活動として環境問題と美しい町づくりをテーマに周辺道路活動、清掃活動を実施し社会貢献に努めます。

＜環境保全への行動指針＞

- ① 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ② 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ③ 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制につとめ、リサイクル率の向上に努めます。
- ④ 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- ⑤ 化学物質の適正管理に努めます。
- ⑥ 不良率0を目指し、省エネ及び歩留まりの向上に努めます。
- ⑦ お客様に支持され続けるために期待に応える環境に配慮した製品を届けます。
- ⑧ 100年続く企業としてありつづけ、社会に貢献する集団を作る。
- ⑨ 環境に配慮した物品の購入に配慮し、地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日：2018年7月2日

改定日：2022年4月19日

代表取締役 藤本 昌司

会社概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 フジモト

代表取締役 藤本 昌司

(2) 所在地

本 社 兵庫県朝来市山東町柴 9 9 - 6

福知山営業所 京都府福知山市間屋町11-8

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 藤本昌司 TEL : 079-676-2113

担当者 同上

(4) 事業内容

金属焼付塗装、表面塗装、板金製缶製作、アッセンブリー

(5) 事業の規模

売上高 50,500 万円

	本社	福知山営業所			合計
従業員 名	21	3			24
延べ床面積 m ²	1500	400			1900

(6) 事業年度 9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

< 認証・登録の対象組織・活動 >

登録組織名 : 株式会社 フジモト

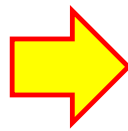
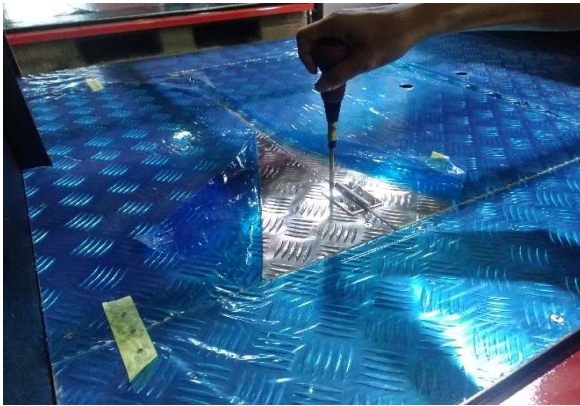
対象事業所 : 本 社

福知山営業所

対象外 : なし

活動 : 金属焼付塗装、表面塗装、板金製缶製作、アッセンブリー

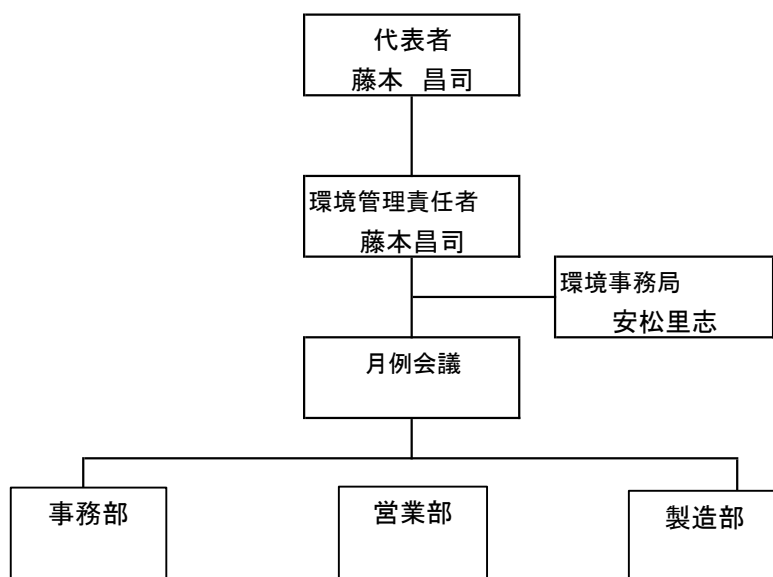
事業・製品の紹介



塗装後の組付け作業と箱詰め出荷を実行しております。

更新日：2018年9月1日

＜環境経営組織図及び役割・責任・権限表＞



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、月例会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
月例会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価

部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境負荷の実績

環境経営方針を踏まえて、下記の7項目について環境目標を設定した。

環境目標		単位	2020年	2021年	2022年
1	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	428,659	435,365	429,308
	電力使用量の削減	kg-CO ₂	105,330	103,980	75,879
	ガソリン使用量の削減	kg-CO ₂	10,271	8,781	9,038
	軽油使用量の削減	kg-CO ₂	56,158	30,521	40,013
	L P G使用量の削減	kg-CO ₂	256,900	292,083	304,378
2	産業廃棄物の削減 (廃プラ, 廃油)	kg	30,606	28,409	24,657
6	水使用量	-	513	735	972
二酸化炭素排出係数 (関西電力)		kg-CO ₂ /kWh	0.496	0.496	0.351

環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
				上段:	通期			
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2		76,745	75,977	75,879	○	73,675	72,908
	基準年度比		2021年	99%	99%		96%	95%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2		292,083	289,162	304,378	×	280,399	277,478
	基準年度比		2021年	99%	104%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2		39,302	38,909	49,052	×	38,123	37,730
	基準年度比		2021年	99%	125%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO2	408,129	404,048	429,308		392,197	388,115
産業廃棄物（廃プラ）の削減	kg		11,510	11,395	6,639	○	11,050	10,935
	基準年度比		2021年	99%	58%		0.96	0.95
水道水の削減	m ³		735	728	972	×	720	713
	基準年度比		2021年	99%	132%		98%	97%
PWラッカーシンナーの管理	kg		24,528	24,528	30,692	×	24,528	24,528
	基準年度比		2021年	100%	125%		100%	100%
環境に配慮した生産活動	行動目標（次項による）							
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）							

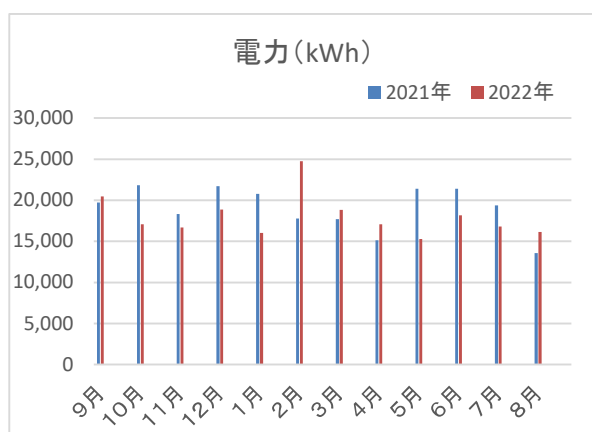
環境経営計画の取組結果とその評価

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

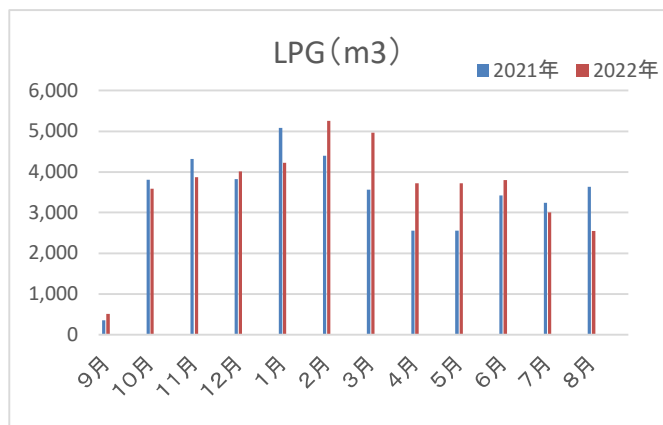
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	来年度も同じく個々で計画を立て全員で徹底していきたいと思います。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	×	
・生産工程の待機時間短縮	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	



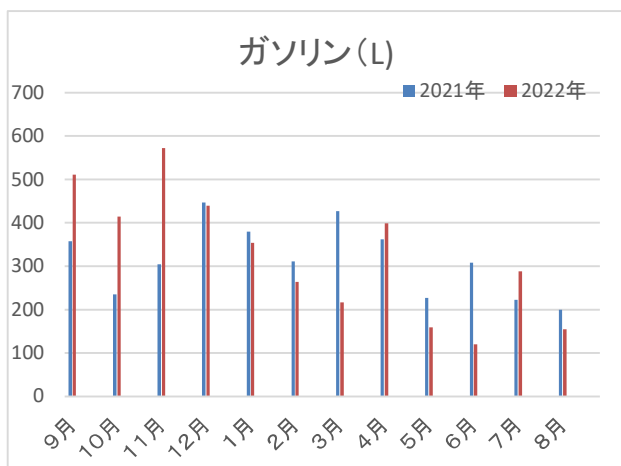
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	19,706	21,856	18,345	21,717	20,790	17,781	17,704	15,129	21,377	21,377	19,382	13,570
2022年	20,454	17,076	16,692	18,858	16,026	24,753	18,844	17,088	15,284	18,146	16,820	16,138

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ブースの清掃、点検を実施することにより不良率の低減につながりましたが今年度はメーカー様を交えグリスアップ・ベルト交換などを行いました。以外に、年末にメーカー様に風量測定も行っていただき仕事環境も改善いたしました。来年度も引き続き継続していこうと思います。
・不良率の削減	○	
・塗装ブースの日常点検の実施	○	
・塗装ブースの空きスペースの低減	○	
・ゴミ等の付着の防止対策	○	

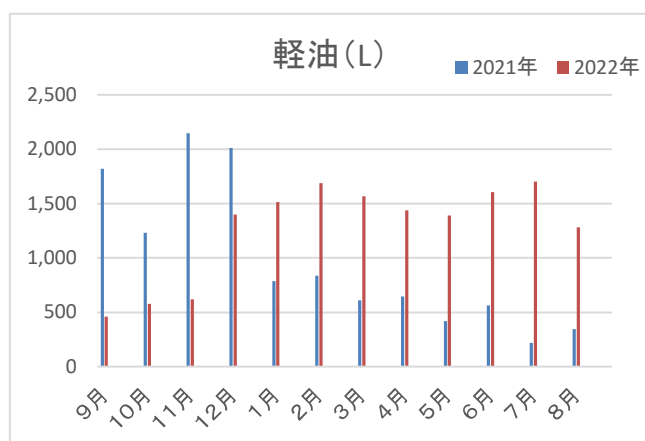


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	358	3,813	4,320	3,824	5,088	4,400	3,564	2,558	2,558	3,422	3,240	3,629
2022年	511	3,588	3,868	4,011	4,228	5,260	4,962	3,720	3,720	3,797	3,006	2,553

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今年度も同じく毎週曜日ごとにルートを決め、納期もそれに合わせることで、効率よくできました。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エリア別営業活動の見直し	○	

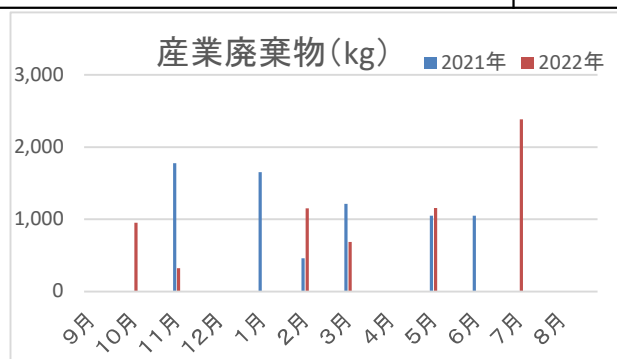


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	358	235	304	447	380	311	427	362	227	308	223	200
2022年	511	414	572	440	354	264	217	399	159	120	288	155



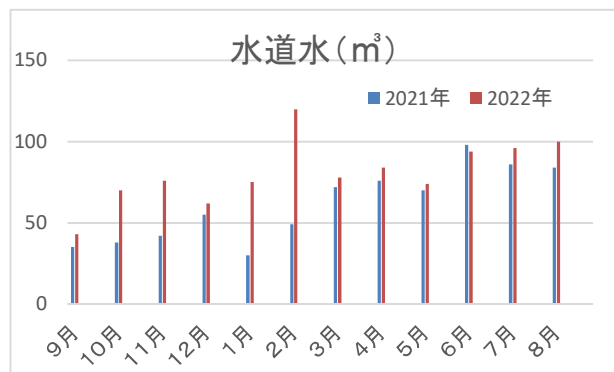
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	1,820	1,231	2,148	2,012	785	837	609	643	418	563	219	345
2022年	459	578	619	1,401	1,516	1,690	1,567	1,437	1,389	1,606	1,702	1,283

産業廃棄物(廃プラ)の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今年度も同様に、ゴミの分別と素材別のボックスを減らすことにより、無駄な廃棄物を出さないようにすることが出来ました。
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者の開拓	×	



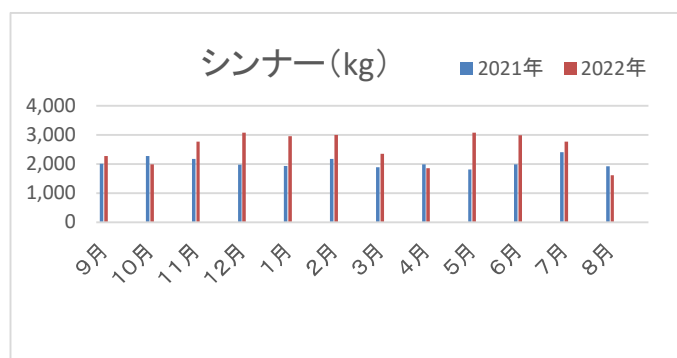
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	0	0	1,777	0	1,653	459	1,213	0	1,048	1,048	0	0
2022年	0	950	320	0	0	1,151	683	0	1,155	0	2,380	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	昨年度まで酸ポール等でトイレ掃除を行い水を流していましたが、今年度よりアルカリ水で洗浄することで洗い流しの回数が減りました。今後も続けて行きたいと思います。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・節水弁取り付け	○	
・自動水栓取り付け	○	
・トイレに擬音装置取り付け	×	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	35	38	42	55	30	49	72	76	70	98	86	84
2022年	43	70	76	62	75	120	78	84	74	94	96	100

PWラッカーシンナーの管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	化学物質の管理は、会社全体で適正に管理できています。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	△	
・代替物質の検討	×	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	2,016	2,272	2,176	1,968	1,936	2,176	1,888	1,984	1,808	1,984	2,400	1,920
2022年	2,271	1,993	2,766	3,075	2,949	3,006	2,351	1,849	3,071	2,993	2,759	1,609

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・新塗料の市場調査（見本市見学参加）	○	新入社員研修で学んだことが実践できると思うので塗料使用率も軽減できるので、環境に配慮した生産活動ができると思います。
・3S取組み（毎月1回の3S活動実施）ブース点検	○	
・製品・・・についての社内不良個数調査	○	

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
抗菌洗浄作用（電解水）設備の提案、訪問回数	○	今後も継続して活動をしていきます。
・新規引き合い件数	○	
・新規組立加工品の引き合い件数	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
消防法（危険物）	危険物の保管
労働安全衛生法	S D S 義務640物質のリスク評価

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

この1年間は、苦情はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年6月16日実施	■実施場所 本社工場
■参加者： 全社員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
消火栓及び消火器の使用法、及び避難経路等の確認をした。	
■実施状況の様子 社員の中に、現役消防団が在籍しており、全社員に消防で学んだことを実践し交代で全社員が実践した。	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年9月30日

【前回の指示への取組結果】 社員が率先し話し合い、消火器の保管ケースなどを作り全員が見える場所、認知しやすい場所に移動など自ら動き自覚が出た。		
＜情 報＞		＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) コロナウイルス対策で始業前体温チェック手指のアルコール消毒を実施	➡	◇環境経営方針 前年同様実施していきます。
◇環境経営目標・計画の達成状況 売上増加でガソリン使用量が増えるのは仕方がないが、来年度は、全車両が急アクセル急加速を抑え燃費向上を図る。		◇環境経営目標・環境経営計画 前年同様各個人急アクセルなどをしないよう心掛け実施します。
◇その他 特に無		◇実施体制他 特に無
各取り組み項目に対して全社員が目標に向かい取り組んで行けたと思う。目標が達成できたところもあるが、達成出来ていないところは、次年度達成できるようにしていく。また、このまま取り組みを継続し、年度目標の達成を図ると共に当年度実績と次年度以降の生産予測を基に適切な中期目標を設定して経営の継続的改善を図る。		

環境経営方針
環境経営目標・計画
実施体制

☒ 変更なし
☒ 変更なし
☒ 変更なし

☐ 変更あり
☐ 変更あり
☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

○17年度に社内の照明LED化にした。

○環境活動状況



工場周辺の清掃



通行者への呼びかけ

